

2020年8月3日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用抗体 CBA-1205 の第 I 相試験における第一例目の被験者への投与開始のお知らせ

この度、当社が開発中のがん治療用抗体 CBA-1205 の第 I 相試験において、第一例目の被験者への投与が開始 (FPI : First Patient In) されましたので、お知らせいたします。

本試験では、固形がん患者様を対象に CBA-1205 の安全性、忍容性および体内動態を確認することに加え、後半パートでは肝細胞がん患者様を対象に探索的な有効性も調べることを目的としております。本試験は国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院および東病院の 2 施設で実施されております。(2020 年 7 月 21 日付「国立研究開発法人国立がん研究センターとのがん治療用抗体 CBA-1205 の臨床第 I 相試験実施に関する契約締結のお知らせ」参照) 今後の進捗につきましては、適宜ご報告いたします。

本件による 2020 年 12 月期の通期業績への影響はありません。

以上

<CBA-1205 について>

CBA-1205 は、肝臓がんを中心とする固形がんの細胞表面に発現している抗原 (標的分子) 「DLK-1 (Delta like 1 homolog)」に選択的に結合する遺伝子組換えヒト IgG1 型モノクローナル抗体です。糖鎖改変技術によって抗体依存性細胞傷害活性 (ADCC 活性) を増強させた抗体で、DLK-1 を発現するがん細胞を移植したマウスに対して強力な抗腫瘍活性を示します。DLK-1 は、幹細胞や前駆細胞といった未熟な細胞の増殖、分化を制御する分子であり、肝臓がんなどに対して新しい治療の標的になる可能性がある分子です。現在、DLK-1 を標的とする治療薬および臨床開発に進んでいる治療薬候補もないため、今回の第 I 相試験は、DLK-1 を標的として世界で初めて実施する治験となります。